

情報共有により迅速な対応を 宮崎森林管理署と協定締結

6月9日、市は宮崎森林管理署都城支署と森林の安全確保や健全な育成を目的に協定を締結しました。前杉成美署長は、「自然災害などに、地域と密着した連携で迅速に対応していきたい」とあいさつ。協定により通常時の森林、林道の情報の共有や災害発生時の連携などが期待されています。



協定書に押印する前杉署長と市長。今後、森林・林業を巡る地域の課題解決に向けた意見、情報の交換も実施します



平成28年9月19日から今年5月16日時点で死亡事故ゼロを記録。安心安全なまちを目指し、今後も交通安全運動に取り組みます

交通死亡事故ゼロ240日 市民一体の取り組みで達成

6月8日、市の交通死亡事故ゼロ240日達成を記念して、県交通安全対策推進本部より表彰状が贈られました。この表彰は、県の交通安全運動の促進が目的。最上川周一県交通・地域安全対策監は「交通安全運動を市民一体となって取り組んだ成果で、これからも継続してほしい」と話しました。

安心して暮らせるまち目指し、 都市計画審議会委員委嘱

6月2日、都市計画審議会委員の委嘱状交付式が開催されました。市の経済の活性化や環境保全について検討することが目的。委嘱をうけた10人は、平成31年5月までの2年間、都市計画に関する審議会を開催し、市民が健康で安心して生活できるまちづくりを進めていきます。



会長の熊ノ迫文夫さんは、「中心市街地活性化を図るため、しっかり協議を進めていきたい」と意気込みを語りました



レースに臨む選手ら。大会中、地域住民らが猪汁のふるまいを行うなど、選手たちをサポートしていました

県高校総体のボート競技 須木の小野湖で初めての開催

5月29日、30日、県高校総体のボート競技が須木区域の小野湖で開催されました。小野湖活用を進めるウォーターフロント事業の一環で、高校総体が行われるのは今年が初めて。県内4校から、3種目53人の選手らが出場し、日頃の練習の成果を発揮し、競い合いました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林地区

にっこば西幸朝市大盛況!

5月28日、青年部会を中心に、初めてとなる「朝市」を西小林駅前広場で開催しました。地元の農家などが野菜や新茶、花苗、お菓子、雑貨などを販売し、300人を超える来場者で盛り上がりしました。目玉となる野菜の詰め放題には開場前から長蛇の列ができ、すぐに売り切れたため、急きょ野菜を補充するという嬉しい悲鳴を上げました。

また、地元の飲食店のお食事券などが当たる抽選会も実施し、吉都線を利用した来場者の方にも西小林のお店を知っていただく機会を作ることができました。

今回の朝市で、「こんなイベントを待っていた」「次回も早く開催してほしい」などの声をいただいたので、この声を力に、今後も朝市を開催していきます。



にっこば西幸朝市の様子

青年部副会長
大牟田 渉太さん

これからも朝市継続
していきます!

青年部会長
福永 正平さん



市総合運動公園内の雨量計の 設置協力などに感謝状

6月5日、小林地域気象観測所の維持管理に寄与したとして、福岡管区気象台長より市に感謝状が贈呈されました。同観測所は市総合運動公園内に設置。小泉岳司宮崎地方気象台長は、「今後の観測所設置へのご理解と維持管理への協力をお願いします」とあいさつしました。



小林地域気象観測所には雨量計を設置。九州管内では、8ヶ所に同感謝状が贈呈されました。

市のフリーWi-Fiを活用し 4会場で介護予防の普及啓発



旧鳥田町小で貯筋運動を行う参加者ら。スマイルファイン企画の秋元博子さんが、介護予防の必要性を訴えていました

6月3日、介護予防の普及啓発を目的にゴールデンエイジ大会を開催しました。旧鳥田町小をメイン会場に、市民体育館、須木総合ふるさとセンターと野尻町農村環境改善センターの3会場を市のフリーWi-Fiを利用し、同時中継で実施。353人が参加し、貯筋運動などで、介護予防への理解を深めました。

最大 1370 匹のホタル飛翔を記録

5月20日から6月4日にかけて、出の山公園で「出の山ホタル恋まつり」が開催されました。昨年の2.2倍のホタルが飛翔し、1日で最大1370匹を記録。普段は立ち入れない遊歩道で観察できるまつりに、期間中述べ1万1186人が来場しました。



田中吉子さんが市立図書館へ寄付

4月、田中衣料品店の田中吉子さんが市立図書館に2万円を寄付しました。田中さんは「地域に支えられてきた。小林のために恩返ししたいと思い寄付をしました」と話していました。寄付金は、図書館の蔵書設備のために活用されます。



「父の日に牛乳を贈ろう」

6月2日、小林市酪農青年女性連絡協議会が、乳製品の消費拡大として市長を訪問しました。6月は牛乳普及拡大月間とされ「父」と「牛乳」をかけた「父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン」を実施しました。



メロン・マンゴーフェアに長蛇の列

5月27日、のじりこびあで第6回メロン・マンゴーフェアが開催されました。「めろめろメロン」や「太陽のタマゴ」を含むメロン約1万5000玉、マンゴー約3500玉を販売。会場には早朝から長蛇の列ができ、約3700人の来場者で賑わいました。



九州北清が小野湖活用のため寄付

6月13日、廃棄物処理を行う九州北清(株)が、市に100万円を寄付しました。贈呈式で久永彰博代表取締役社長は、「須木地区の小野湖周辺の活用を目指す、ウオーターフロント事業に役立ててほしい」と話していました。



クリーン・アクア・ビバレッジ C A B が水資源の保全のため寄付

6月13日、ミネラルウォーターの販売を行う(株)クリーン・アクア・ビバレッジが、市に100万円を寄付しました。贈呈式で本坊修代表取締役会長は、「小林の豊かな水を守るための事業に活用してほしい」と話していました。



同窓会が三松小に音響設備を寄贈

6月18日、平成3年度三松中学校卒業厄払い同窓会が三松小学校に、ワイヤレスマイクとアンプチューナーを寄贈しました。小川真実行委員長は、「夏の野外イベント、ナイトイン三松などで役立てていただければ」と話していました。



三松野球スポ少、全国大会出場を報告

6月14日、三松野球スポーツ少年団が市長を訪問し、軟式野球の全国大会出場を報告しました。同クラブは5月に開催された県予選会で準優勝。田中大斗主将は、「マナーと礼儀を正しくして、みんなで優勝を目指します」と意気込みを話しました。

